

**Monthly Repo. ならやま**

富井 忠雄

**11月25日(木) 活動 晴 72名**

月末活動日であり、各Gでの倉庫内の備品調査を実施。学びの森エントランスエリア植樹用の苗木を搬入。エコGは牛蒡、里芋、葉野菜などの収穫、景観Gは佐保自然の森の竹林整備を実施。花班は久しぶりに多くの応援を得て西側花壇の棚作り、ビオ班は西池北側の水路作りと整備を行う。パトGは新コースのパトロールとエントランス広場の草刈、BC前階段新設工事などを実施した。果樹Gは、果樹苗の植付け、キウイ苗床設置などを行った。

**12月2日(木) 活動 晴 74名**

緑の環境プラン大賞の表彰状授与のために東京から第一生命財団の方が来訪。授与式の後、全員で記念写真を撮影した。また、佐保台小児童が投稿したならやまの黒米についての歌が朝日新聞の歌壇に選ばれて掲載されたとの情報。ならやまの黒米も全国区となった。

第2駐車場の砂利の整理、佐保自然の森の竹林整備を協働活動で行う。その後、里山Gはいつもの里山林保全のほか干支の置物準備、エコGは芋煮会用の里芋堀り、野菜類の収穫、景観Gは佐保自然の森の竹林整備、花班は道路沿い花壇の草引き、皇帝ダイアの棚作りを行う。パトGは2コースのパトロール、A地区の整備、BC前階段新設工事、果樹Gは実りの森入口の道路整備と、果樹苗木の植込みなどを行った。

**12月9日(木) 活動 晴 78名+7名(近大)**

協働活動にて、美しい里山を夢に見つつ、学びの森



エントランスエリアに紅葉、カツラ 20本を植樹。昼にはエコGが中心になって芋煮会が開催され、さすがに年季が入った味は好評で、約100食分の芋煮を参加者80名ほどが完食した。里山Gは植樹を指導したのち、干支の準備、薪割り、枯れ木の伐採、エコGは芋煮会で頑張った後、里芋、大根などの収穫をする。

一部の畑に鹿による被害が出ているらしい。緑がなくなる季節には餌を求めてやってくるようだ。

景観Gは佐保自然の森竹林整備、花班は道路沿い花壇の千日紅撤去、パトGは3コースのパトロールとBC駐車場階段新設工事、観察路案内表更新などを行う。果樹Gはコンポスト囲い作り、キウイ苗の植え込みと鹿除け対策を行った。

**12月16日(木) 活動 晴 75名**

協働活動でアダプトプログラムによる周辺清掃を実施、新年を迎える準備が進む。緑綬褒章の伝達式について報告があり、いただいた褒状を前に、全員で記念写真を撮った。



里山Gは通常作業のほか干支の置物や門松の準備、ユートピアクラブは、赤松林の剪定と門松材の手配を行う。エコGは里芋、冬野菜の収穫、鹿被害(そら豆)の捕植と鹿対策を行う。景観Gは佐保自然の森の竹林整備、花班は皇帝ダイア、ハヤト瓜の片づけ、ビオ班は東池の水抜きと西池周辺水路整備。パトGはBC駐車場階段新設工事、観察路案内看板更新を行う。果樹Gは梅、柿の剪定とB地区の侵入路の補修を実施。午後、四阿にてならやま委員会が開催。